



ワールドキャンサーデー

ライトアップ ザ ワールド

オンライン開催 YouTubeにてライブ配信
<https://worldcancerday.jp/>

2022年2月4日(金) 17:30~18:20

ワールドキャンサーデーは世界中の人々が、がんのためにできることを考えて行動を起こす日です。UICC日本委員会ではオンラインで、ライトアップ点灯式とワールドキャンサーデー・セッションを加盟組織で共同開催いたします。2月4日の夜空をブルーとオレンジの光に包むライトアップが、世界各地で行われます。コロナ禍で、人と人の距離を離さなければならぬいま、距離を超えて、日本各地の光を繋ぎ、未来にむけてがんという病への想いをひとつにする瞬間をともに分かち合ひましょう。

ライトアップ点灯式

—未来に光を繋ぐ—

Close ☐
the care
gap ☐

日本各地のライトアップの点灯式をおこない、日本国内のみならず世界にむけて、がんに向かう想いを発信します。



野田哲生

UICC日本委員会委員長
(がん研究会がん研究所所長)



中釜 斉

UICC日本委員会幹事
(国立がん研究センター理事長)



垣添忠生

UICC日本委員会幹事
(日本対がん協会会長)



河原ノリエ

UICC日本委員会広報委員長
(東京大学東洋文化研究所特任准教授)

ゲスト:大竹しのぶさん



ワールドキャンサーデー・セッション Close the Care Gap

ワールドキャンサーデー当日は、【2月4日限定配信の2つのライブセッション(要事前申込)】と【UICC日本委員会加盟組織によるセッション(※オンデマンド配信)】を配信いたします。

各セッションの詳細はワールドキャンサーデー特設サイト
(<https://worldcancerday.jp/>)を
ご確認ください。



ワールドキャンサーデー
特設サイト
QRコード



島根

松江赤十字病院・
さんいん中央テレビ鉄塔



京都

京都タワー



富山

世界遺産相倉合掌集落



新潟

新潟日報メディアシップ



北海道

さっぽろテレビ塔



宮城

仙台スカイキャンドル



埼玉

さいたまスーパーアリーナ 埼玉スタジアム2002



埼玉



福岡

博多ポートタワー

ライトアップ会場 2022年ライトアップ予定会場



三重

三重大学医学部附属病院



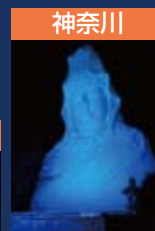
岐阜

岐阜市役所



愛知

中部電力MIRAI TOWER



神奈川

大船観音



東京

東京ビッグサイト

主催 UICC日本委員会
www.jfcr.or.jp/UICC

国際対がん連合（UICC）日本委員会主催

国際対がん連合（UICC）日本委員会主催
ワールド キャンサーデー2022

2022年2月4日金 限定配信 参加費無料 要事前申込 QRコードからお申し込みください。

ワールドキャンサーデーライブセッション開催

ワールドキャンセーデーは、毎年2月4日に、一人ひとりが、がんに関する意識を高め、この病気に対して行動を起こすことを目的として、世界各地でさまざまな取り組みを行う日です。UICCの取り組みの一つである「Light up the world」と共に、2022年は2月4日限定配信の2つのライブセッションを開催いたします。セッションはZoomウェビナーを用いて開催いたします。詳細は、<https://www.worldcancerday.jp>をご覧ください。



ライブセッション ①

がん患者が医師と治療選択を
共有するためには
~shared decision making~



- 開催日時：2022年2月4日(金)16:00～17:00
- 開催形態：Zoomウェビナー（要事前申込/無料）
- 主 催：UICC日本委員会
- 共 催：一般社団法人がん医療の今を共有する会（ACT）

お申し込みはこちらから

男性の三人に二人、女性の二人に一人ががんになる現代の日本であっても、
がんと診断されてうろたえない人はほとんどいません。がんと診断された
患者が、医師と治療選択を共有し、医療者の支えのもとに納得して治療に
向き合えるにはどうしたらいいのか。がん治療の専門家とがん患者が、
ディスカッションを行います。

司会：垣添 忠生

趣旨説明 垣添 忠生

話題提供 .1 「がん患者の医療選択」を考える
金田 信一郎 (作家・ジャーナリスト・食道がん経験者)

話題提供 .2 超高リスクの前立腺がんと診断されて
山口 博彰 (読売新聞東京本社編集委員・前立腺がん経験者)

話題提供 3 **がんの治療法選択における患者さんの意向とエビデンスの狭間**
秋元 哲夫 (国立がん研究センター東病院副院長・放射線治療科長)

話題提供 4 **がん患者の治療説明・治療選択共有コミュニケーションのポイント**
渡邊 雅之（がん研有明病院副院長・食道外科部長）

ディスカッション がん患者が医師と治療選択を共有するためには
～shared decision making～

ライブセッション ②

コロナ渦の受診控え
～病院に行くのを
ためらっているあなたへ～



- 開催日時：2022年2月4日(金)19:00～20:10
- 開催形態：Zoomウェビナー(要事前申込/無料)
- 主 催：UICC日本委員会
- 共 催：MSD株式会社

[お申し込みはこちらから](#)

コロナ禍による受診・検診控えにより、以前よりもがんが進行した状態で発見されるがん患者さんが大幅に増加することが懸念されています。ワールドキャンサーデーという日に改めてこの問題を専門家と一緒に考え、検診控えや受診控えをしない、させないことを目指しましょう。

司会:野田 哲生 UICC日本委員会委員長・がん研究会がん研究所所長

野田 哲生

講演.1 データで読み解く受診・検診控えによる
日本のがん医療への影響(質疑有)
中釜 斉(UICC日本委員会幹事・国立がん研究センター理事長)

講演.2 コロナ禍で検診・受診を妨げているものは何か
一患者さんの目線から(質疑有)
垣添 忠生(UICC日本委員会幹事・日本対がん協会会長)

講演.3 受診・検診をためらわないで—医療現場から
皆さまにお伝えしたいこと(質疑有)
佐野 武(UICC日本委員会TNM委員会委員長・がん研究会有明病院院長)

クローシング 野田 哲生

[illegible]